

三つの花（西部小学校だより） 滑川市立西部小学校 R6.7.10

学校教育目標



「三つの花」を咲かせる西部っ子

にこにこ花
ほかほか花
きらりん花

楽しく学ぶ
相手の心を思いやる
きらきらと自分らしく輝く

子供たちの姿・様子から感じたこと

2年生の子供が大切そうに3個のミニトマトを小さな手の中にもっているのを見せてくれました。まだ、オレンジ色のミニトマトです。「おいしそうに育ったね。もう少し待つと真っ赤になってもっとおいしくなるかもね。」と言うと「もうおいしいよ。もう待ちきれない。それにね、冷蔵庫に入れておいても赤くなるんだよ。」と教えてくれました。最高の笑顔でした。

1年生は、自分の育てているアサガオが何色の花を咲かせるのか楽しみに毎日水やりを続けています。「私のアサガオは、水色だった。〇〇ちゃんの花はね、5つも咲いているんだよ、いいなあ。」と報告してくれます。いつも気持ちを込めて世話していたのです。やはり最高の笑顔でした。

夏本番、気温が30度を超える日が続いています。5・6年生がプールを丁寧に掃除してくれたおかげで、毎日全校児童が嬉しそうに水泳や水遊びを楽しんでいます。例年、雨天でなかなかプールに入ることができない学級・学年があるのですが、今年は、全学年がほぼ予定どおりプールに入っています。本当に気持ちよさそうです。

学校では、子供たちの安全のため、プールの水質管理を行い、水泳の授業は複数の教員等でプールの中とプールサイドで指導にあたっています。また、当日プールに入ることができない子供は、図書室で自習をすることとしました。ご家庭でも引き続き、健康チェックをしていただきますようお願いいたします。

今年は、保護者の皆さんに呼びかけ、プール掃除のボランティアを募集したところ、5名の方が子供たちのプール掃除前日に藻でヌルヌルしたプールの底や壁面を磨いてくださいました。いつもは教職員で事前の掃除をしているのですが、ご協力いただき、教員の働き方改革にもつながりました。本当にありがとうございました。

また、先日は、5年生の家庭科の授業で、地域の皆さんに裁縫を教えていただきました。針に糸を通す、玉結びを作る、布を縫ってみる、玉止めをするなど、初めて挑戦する子供が多く、なかなかうまくいかないのですが、丁寧にコツを教えていただき少しずつできるようになっていきました。子供たちの笑顔が広がり、指導者の皆様も「子供たちと触れ合えて嬉しかった。」とお話しくださったのが嬉しかったです。

次は、子供たちにまだまだ頑張ってもらいたいところについてお話しします。それはみんなが気持ちよく学校生活を送ることができるよう、学校をきれいにすることです。普段しっかり清掃しているのですが、大きな学校であるためどうしても汚れてしまいます。まずは、自分の下足箱や机の中・まわり、学年の廊下やホール、授業で使う特別教室、トイレ、グラウンド等、「ごみを落とさない。」「汚したら自分できれいにする。」「ごみが落ちているのに気付いたら、自分が落としたものでなくても拾ってごみ箱へ捨てる。」などを意識してほしいと思います。先日、6年生が学校の汚れているところを黙々と掃除していました。このようなリーダーがいる西部小学校です。いつも美しい西部小学校をみんなで作っていかれると思います。

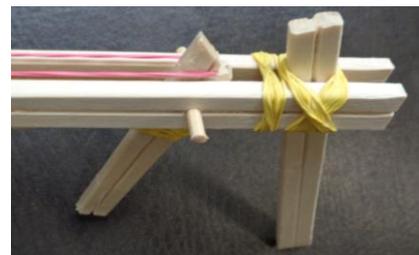
観劇『シンドバットの冒険』

6月27日（木）、150周年記念行事の一環で劇団ポプラの『シンドバットの冒険』を観劇しました。学校の体育館が劇場に早変わりし、笑いありスリルありのミュージカルでした。やはりプロの役者さんは演技や歌声等、表現力が素晴らしいですね。また、迫力ある音響、道具、照明にも子供たちは引き込まれていたようです。

ご家庭で簡単にできる 遊び⇒探究

いくつかのクラスにお邪魔して、一緒に2つの遊び（工夫したり、研究したりすると、どんどん発展する『探究』への入口となる遊びです。）を行いました。

1つ目は、「わりばしてっぽう」づくりです。一人3膳の割り箸と輪ゴム5本で輪ゴムが飛び出すおもちゃづくりを行いました。作り方が簡単で、子供たちは出来上がったものを狙って大喜びでした。今日つくったのは基本だから、長さを変えたり、いくつも輪ゴムを発射できたりする「わりばしてっぽう」に発展させることができることを伝えました。絶対人に向けない、飛ばした輪ゴムをしっかりと拾う、時間を守って使うなど、約束したうえでの活動です。みんなしっかりと約束を守って楽しんでいました。



2つ目は、「スライム」づくりです。洗濯用のりにホウ砂水を混ぜるだけで簡単に作ることができます。子供たちは洗濯用のりに自分のつくりたい色の絵の具を混ぜ、ホウ砂水を少しずつ加えてしっかりと練り上げることでのび～るスライムを完成させていました。固さを工夫できることや砂鉄を入れて磁石で動くスライム、蛍光塗料を入れて光るスライムをつくることを伝えました。触って遊んだ後は、手を必ず洗う、床に落ちないように机の上で遊ぶ、家では知らない人が間違っって口に入れないように袋に入れて保存するなどこの約束も守って感触を楽しんでいました。

《用意するもの》

- ・プラカップ2個
- ・割り箸1膳
- ・ナイロンストックバック1つ

A液 ・洗濯用のり（PVAのり）50ml
・水50ml ・絵の具少々

B液 ・ホウ砂2g※ ・お湯25ml
※薬局のあるスーパー等で購入できます。

《作り方》

1. プラカップに洗濯用のり50mlと水50ml、絵の具を入れしっかりとかき混ぜる。（A液）
2. プラカップにホウ砂2gとお湯25mlを入れ溶けるまでしっかりとかき混ぜる。（B液）
3. プラカップのA液にB液を少しずつ入れよくかき混ぜる。よくかき混ぜても水分が残っているようならBの水溶液を追加し、よくかき混ぜる。（のび～るスライムにするには、B液を入れすぎないのがコツ）

どちらもご家庭でも簡単にできます。夏休みに色々研究してみるのも面白いですよ。

たくさんの教職員が子供たちをサポート

学校は、たくさんの教職員で子供たちを指導・支援しております。今回は、養護教諭と校務助手について紹介します。

養護教諭は、体調が悪くなったり怪我をしたりした子供の応急処置をする他、全校の子供たちの心と体の変化を担任と共に把握し、声をかけたり寄り添ったりしています。また、保健だより等で子供たちの安全や健康について家庭へアドバイスしたりお願いしたりしています。

校務助手は、毎日、コンテナで運ばれてきた給食を分け、各教室へ運搬車を届けるなどの準備や後片付けの他、印刷業務や草刈り、修理が必要になった個所の修繕、清掃等、子供たちや教員が気持ちよく学習できる学校生活を送ることができるようにサポートしています。

ここで紹介するのは、それぞれの業務の一部で、この他にもたくさんの業務を行っています。学校はたくさんの職員がチームで仕事をすることで動いています。